

平成29年度第2回光市教育振興基本計画策定懇話会 会議録

1 開催日時

平成29年9月22日（金）午前10時00分～午前11時30分

2 開催場所

光市教育委員会1階ホール

3 出席者

(1) 構成員

光市教育開発研究所	主任研究員	村上 博（会長）
室積小学校	校長	古谷 友伯
光井中学校	校長	吉本 そのみ
聖光幼稚園	園長	細田 直子
大和中学校学校運営協議会	会長	宮尾 智義
島田小学校学校運営協議会	会長	山本 俊男
光市小中学校PTA連合会	会長	岩崎 英二
光市文化協会	事務局長	川津 勝徳
光市スポーツ推進委員協議会	会長	林 徳人
光市食生活改善推進協議会	会長	天野 加代子（副会長）
公募委員		福島 雅美子
公募委員		魚谷 美穂

(2) 事務局

能美教育長、蔵下教育部長、太田教育総務課長、影土井教育総務課経理係長、清水経理係員

(3) 関係者

ア 教育委員会事務局

和田学校教育課長、奥屋学校教育課主幹、弘文化・社会教育課長兼人権教育課長、村崎体育課長、穂山図書館長、清水学校給食センター所長、永光教育企画担当（学校教育課）

イ 市民部

縄田地域づくり推進課長

ウ 福祉保健部

西村子ども家庭課長、柏木健康増進課長

4 次 第

開 会

(1) 教育長あいさつ

(2) 議 題

光市教育振興基本計画（案）について

(3) その他

閉 会

5 議事録（要旨）

開 会

(1) 教育長あいさつ

前回の会議では、計画の骨子についてご協議いただき、概ねのご了解をいただいた。今回お示しする内容は、具体的な施策ごとに肉付けを行っている。この内容については、関係各課の職員で構成する「光市教育振興基本計画策定庁内委員会」で議論を重ねてきた。本日は、そうした計画の内容や中身について、ご忌憚のないご意見、ご提言をお願いしたい。

(2) 議 題

ア 光市教育振興基本計画（案）について

(ア－1) 説 明（第1章、第2章）

事務局より、資料に沿って説明。

(イ－1) 意見等

特段の意見等なし。

(ア－2) 説 明（第3章、第4章）

事務局より、資料に沿って説明。

(イ－2) 意見等

【委 員】

資料の6ページ『『イングリッシュプラン光』の実践』について、小学校から外国語の授業が正式に始まるが、先生の対応が難しいと報道されていた。先生の資質向上が重要だと思うが、先生の研修など具体的にどのように対応されているか。

【委員】

室積小学校は、文科省の指定を受けて英語教育を始めて3年目となり、11月8日に全国発表会がある。本校はこうした環境のもと、楽しく学んでいる。

ただ、本計画には、ALTの活用についてほとんど記載されていない気がする。ALTをどのくらい各学校に配置していただけるのか大きな関心事だと思う。教員の質の問題も含めてもう少し教えていただけると安心するのではないかと。

【事務局】

今年で3年目を迎える外国語教育の文部科学省指定について、室積小学校、室積中学校、光高等学校が受けている。そうした実践の成果を11月8日に発表するといったご紹介があったが、この指定は県内で唯一である。こうした取組みを基礎としていきたい。

平成32年度から新しい学習指導要領が完全実施されるが、本市では来年度から先行実施していきたい。具体的には、3、4年生に週1時間、年間35時間の外国語活動、5・6年生では、今は年間35時間の外国語活動を年間70時間に、これは外国語科という教科となる。現状ではALTを補助教育として、全ての5、6年生に年間35時間で授業に入らせていただいている。来年度について、3、4年生で新たに年間35時間、5・6年生でプラス年間35時間と、今の3倍の費用がかかることになる。来年度の予算計上も考えていきたいが、ここでお約束できないこともご理解いただきたい。

本市が他市に先駆けて外国語活動を導入した際、全ての時間にALTを配置したことは、光市ならではの取組みである。ぜひALTの活用を継続していきたい。ただ、こうした内容を計画に位置付けていけるかどうか検討してみたい。

教職員の資質向上については、月に1回から2ヶ月に1回程度、小学校の先生方が自主的に集まってALTを中心とした研修を行っている。市教委としても、引き続き支援していきたい。

【委員】

公立幼稚園の記載はあるが、私立幼稚園の記載がない。光市はいろいろと先駆けて幼児教育、保育を実施されており、子ども家庭課ができたのも早かった。子ども家庭課ができてから、私立幼稚園への支援やお知らせ等もいただいているが、公立幼稚園とまではいなくても、もう少し私立幼稚園にも目を向けていただきたい。公立も私立も子どもは一緒なので考えてもらいたい。

【事務局】

この内容については、表現等を含めて検討させていただきたい。

【事務局】

就学前相談等については、公立・私立関係なくご協力いただいている。また、「連携・協働教育の充実と進化」の中で、幼保・小・中の学校間・校種間連携を密にしたことを

記載している。小学校に上がる際に滑らかな接続ができるように、特別支援教育の視点からは、適切な支援ができる仕組みを今後更に強化していきたいと思う。

【委員】

20ページの学力の目標について、平均正答率を載せるのは仕方ないと思うが、個人的にはあまりこだわってほしくないと思う。

50ページの洋式トイレの件について、全国平均43.3%で平成33年度の目標が30%とは、目標値が低いと思う。

52ページの学校図書館図書標準の達成率は、近況の平成27年度が102.6%で目標値が100%では下がることになる。学校図書館の本は古くて読みにくいので、子どもたちはあまり読まない。現状で100%は超えているが、中身としてはまだまだ充実していないと思っている。

【事務局】

20ページの全国学力・学習状況調査平均正答率については、この目標は平成33年度全国平均を上回るという意味なので、このような記載にさせていただいた。

【事務局】

50ページの洋式トイレの目標値は、言われるように全国平均よりも低いということで、厳しい状況にあるが、改めて検討させていただきたい。

52ページの図書標準は、100%を切らないようにと考えている。目標値としては良いと思うが、数値ではなく中身というご提言は今後の参考にさせていただきたい。

【委員】

21ページの基本施策の方針で『考え、議論する』道徳科」とあるが、イメージとしてはどのようなものか。また、21ページの主な取組み「外国語教育『等』」とあるが、「等」にはどのような意味合いがあるか。

【事務局】

小学校では来年度から、中学校では再来年度から「特別の教科 道徳」を実施する。

これまでの道徳の時間では、例えば一方的に先生が道徳的価値を話すことで、子どもたちも道徳の価値については充分理解している。そうした道徳の価値観について、子どもたち自身が考えて議論する教育活動に発展させるために教科となった。押し付けの道徳観ではなく、子どもたち自身が考え、実際の生活で生きるような教科にしていこう、という意味の「考え、議論する」という表現であり、文部科学省でも用いている。

また、「外国語教育等」の「等」については、現在は外国語教育の研究をしているが、今後、小中一貫教育を進めていくなかで、小学校6年間、中学校3年間それぞれの教育課程を合せて9年間という流れの教育課程を構築していくための研究を進めていくといった宿題があることから、現状では「外国語教育等」としている。

【委員】

28ページの「家庭教育支援チームの設置」について、島田小学校で家庭教育支援チームに取り組んでおり、平成29年度中には設置できると思うので、平成33年度の目標を1チームではなく、もう少し上げてもらいたい。

29ページの「ゆたかな心と郷土愛を育む環境づくりの推進」で、小学校ではジュニア福祉員が設置されているが、この計画には福祉教育について盛り込まれてないことが少し残念である。

【事務局】

今年度中に島田地区で家庭教育支援チームを設置する動きが見られ、文化・社会教育課としても、今後地域を拡大していきたいと考えている。ただ、市全体を光支部として位置付けるか、また、個別に地区毎に家庭教育支援チームを設けていくのか、現在、検討中である。

「ゆたかな心と郷土愛を育む環境づくりの推進」について、福祉と教育は非常に関連があるものと考えている。どういった形で教育として盛り込めるのか、またその方法についてはもう少しお時間をいただきたい。

【事務局】

光市の小学校のジュニア福祉員は、他市では見られない、大変有益で歴史のある取り組みだと認識している。29ページの「ゆたかな心と郷土愛を育む環境づくりの推進」が良いのか、16ページに基本施策「連携と働で育む学校教育の推進」の具体的施策「豊かな心を育む教育の推進」の方が適切なのか、関係各課と調整したい。

【委員】

14ページに「おっばい都市宣言」について記載されているが、もっと広く宣伝していただきたい。私も、おっばいまつりには何年か関わったが、回を重ねるごとに、光市全体で子育てをしようという雰囲気醸成され、大変良い経験となっている。

【委員】

子どもを育てる環境としては、先生方に一生懸命やっていただいております、本当にありがたい。さまざまな取り組みをしっかりと前に進めていただけてくれることが親としての願いである。

【委員】

今回の資料を見ると、とても分かりやすい内容となっている。外国語教育について、私の子どもも室積小学校、室積中学校に通っているが、今はとても良い条件で授業を受けさせてもらっていると実感した。現在は外国語が必要な社会なので、これからも力を入れていただけたらありがたいと思う。

【委員】

2歳児の子どもを子育てしていて、図書館によく通っている。古い本が多いという話もあったが、確かにテープで補修されている本も多い。また、多目的トイレが使用禁止で、長時間居たくても難しいこともあった。学校のトイレを洋式にすることも大事だが、こういった施設のトイレの整備もお願いしたい。

【委員】

福祉教育は、本校も光井コミュニティセンターや地区社会福祉協議会の協力を頂きながら実施している。市からも出前講座として支援していただいております、出前講座をお願いできる内容の資料をまとめていただけたらともっと充実すると思う。

【委員】

小学校は洋式トイレがないと駄目なのか。

【事務局】

そうした定めはない。

【委員】

私個人の考えだが、ほとんどの幼稚園、保育園では洋式トイレに改修されてきており、そうしたことも子どもたちの体力低下の一因にもなっていると感じている。その理由として、生活環境の変化があると考えている。例えば、私たちの時代は、ベッドではなく布団で寝ていた。寝る前に体操をしたり、寝転がったりしていたが、今はベッドから落ちるということでそうした動きもできない。子どもたちも、家で洋式トイレなのは良いかと思うが、腰を下ろして座るといった屈伸の動きができず、ジャンプができない子も多い。子どもの体力や体の使い方を考えてみた場合、洋式トイレが必ずしも良いとも言えないのではないかと考えている。

【事務局】

この度いただいたご意見等を計画内容に反映させていくとともに、良い計画書となるよう策定作業を進めていきたい。今後の予定については、12月議会定例会の委員会に中間報告をした後、パブリックコメントを実施したいと考えている。

(5) その他

次回開催予定 平成30年2月2日(金) 午前10時～

午前11時30分終了